

第134回横浜市景況・経営動向調査（令和7年9月実施）（通常調査）

調査結果のまとめ

- ・ 自社業況BSIは、全産業で▲15.1と、前期からほぼ横ばいで推移
- ・ 先行きについては、来期が▲13.9と、今期より改善する見通し

【調査のポイント】

- 今期（令和7年7-9月期）の自社業況BSI（※）は▲15.1と、前期（▲15.3）と比べて0.2ポイント上昇しました。
- 業種別では、製造業の今期のBSIは▲21.3と、前期（▲16.4）より4.9ポイント低下しました。非製造業の今期のBSIは▲10.8と、前期（▲14.5）より3.7ポイント上昇しました。
- 規模別では、大企業の今期のBSIは▲5.6と、前期（▲16.6）より11.0ポイント上昇、中堅企業の今期のBSIは▲6.9と、前期（▲2.7）と比べて4.2ポイント低下となりました。中小企業の今期のBSIは▲17.7と、前期（▲18.1）より0.4ポイント上昇、また中小企業のうち小規模企業の今期のBSIは▲24.4と、前期（▲26.8）より2.4ポイント上昇しました。
- 先行きについては、来期（令和7年10-12月期）の自社業況BSIは▲13.9と、今期（▲15.1）より1.2ポイント上昇、再来期（令和8年1-3月期）の自社業況BSIは▲18.4と、来期（▲13.9）より4.5ポイント低下する見通しです。

【調査対象】 市内企業 1,000 社（回収数：640 社、回収率：64.0%）

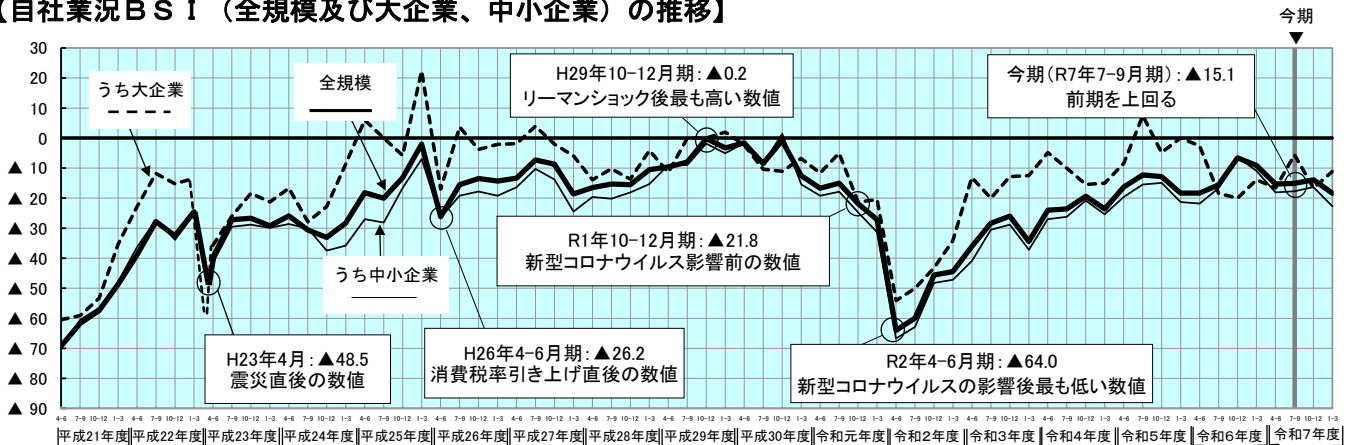
【調査時期】 令和7年7月25日～8月20日

※BSI（Business Survey Index）：自社業況 BSI は、自社業況が「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合を減じた値です。

【調査の概要】

1 自社業況判断（自社業況 BSI：良い％－悪い％）

【自社業況BSI（全規模及び大企業、中小企業）の推移】



【自社業況BSI（業種別・規模別）の推移】

		令和6年 10-12月期	令和7年 1-3月期	令和7年 4-6月期 (前期)	令和7年 7-9月期 (今期)	今期-前期	令和7年 10-12月期 (来期)	令和8年 1-3月期 (再来期)
業種	全産業	▲6.6	▲9.1	▲15.3	▲15.1	0.2	▲13.9	▲18.4
	製造業	▲7.5	▲13.2	▲16.4	▲21.3	▲4.9	▲17.5	▲21.1
	非製造業	▲6.0	▲6.2	▲14.5	▲10.8	3.7	▲11.4	▲16.5
規模	大企業	▲20.0	▲13.9	▲16.6	▲5.6	11.0	▲16.6	▲11.1
	中堅企業	▲3.5	0.9	▲2.7	▲6.9	▲4.2	▲3.5	▲2.7
	中小企業	▲6.4	▲10.9	▲18.1	▲17.7	0.4	▲16.3	▲22.7
	うち小規模企業	▲14.1	▲13.7	▲26.8	▲24.4	2.4	▲23.3	▲32.1

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

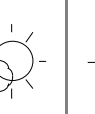
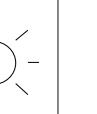


【業種別動向】(前期:令和7年4月～6月期、今期:令和7年7月～9月期、来期:令和7年10月～12月期)

業 種	前 期	今 期	来 期	ヒアリング対象企業のコメント
食料品等	 ▲ 11.7 (▲ 12.5)	 ▲ 12.5 (▲ 13.3)	 ▲ 18.8 (▲ 20.0)	・主要な得意先の1社がM&Aにより経営が変わり、取引が無くなる見込みである。(肉製品製造) ・主原料国内産も米の暴騰及び品薄で、価格転嫁したいが仕入価格上昇分を補填できる程の値上げは売上減少の恐れもあり慎重にならざるを得ない。(米菓製造)
鉄鋼・金属等	 ▲ 24.0 (▲ 24.5)	 ▲ 32.2 (▲ 34.5)	 ▲ 25.9 (▲ 26.4)	・エネルギー・材料費高騰による影響は引き続き大きい。十分に価格転嫁できず利益は下がっている。(金属スプリング製造) ・米国関税の影響が出てくるのではないかと危惧している。人手不足もあり生産が順調にいかない可能性あり。(他非鉄再生合金製造)
一般機械	 ▲ 11.7 (▲ 12.5)	 ▲ 13.2 (▲ 16.4)	 ▲ 9.6 (▲ 12.5)	・マリン市場はコロナ禍に需要が拡大したが、その後需要急減し船外機メーカーは生産調整に伴う大幅な受注減があった。円安・材料費高騰で、限界利益が減少している。(動力伝導装置製造) ・自動車会社の工場閉鎖で今後の受注減が想定される。(他特殊産業機械製造)
電機・精密等	 ▲ 9.3 (▲ 13.9)	 ▲ 22.2 (▲ 23.1)	 ▲ 13.3 (▲ 12.8)	・防災関係の機器を販売しているが国全体の物価の上昇の影響を受けてか災害対応への設備投資意欲が減少している様に見受けられる。(他電子応用装置製造) ・価格の安い海外製品が多く市場に出回り、価格面で勝てないため売上が減少傾向にある。(蓄電池製造)
輸送用機械	 ▲ 31.5 (▲ 35.7)	 ▲ 5.0 (0.0)	 ▲ 15.0 (▲ 20.0)	・一時的に得意先からの受注量が増加する見込みがある。(建設・鉱山機械製造) ・大型観光バスや大型路線バスの需要(訪日外国人観光需要)(自動車車体製造)
建設業	 ▲ 20.0 (▲ 20.0)	 1.8 (4.0)	 ▲ 5.4 (▲ 2.0)	・当期は上半期の状況から大幅な「増収・増益基調」となる見込みだが、次年度の受注に課題を抱えている。(電気配線工事業) ・利益の確保できる新規獲得案件が継続して受注できていることから、利益率が改善している。(一般土木建築工事業)
運輸・倉庫業	 ▲ 13.9 (▲ 14.7)	 ▲ 20.0 (▲ 22.5)	 ▲ 17.5 (▲ 19.4)	・物価高を背景に、嗜好品である果実への買い控えが要因。(冷蔵倉庫業) ・コンテナターミナルオペレーターとして事業を行っているが、トランプ関税の影響で中国からの貨物が減少したため。現在は回復基調にあるが、従前の取扱量にはまだ至っていない。(港湾運送)
卸売業	 ▲ 6.3 (▲ 11.4)	 ▲ 11.0 (▲ 11.7)	 ▲ 12.5 (▲ 18.6)	・原材料の上昇による仕入れ価格上昇で販売価格の上昇が止まらず、企業賃金の伸びが追い付かず、消費者の販売意欲の減少が見られる。(その他の食料飲料卸) ・生花店においては、お盆・お彼岸などの需要期に、異常気象による品薄からくる仕入れ価格の上昇を転嫁できず、経営が苦しくなっている。(その他の卸)
小売業	 ▲ 27.1 (▲ 37.0)	 ▲ 19.7 (▲ 29.1)	 ▲ 17.6 (▲ 22.6)	・薬価と薬の流通、医療報酬が据え置き(医薬品小売) ・食品など日用品の物価上昇の煽りで高価な電化製品の売り上げが鈍化しています。(家電機械器具小売)
飲食店・宿泊業	 ▲ 18.2 (▲ 33.3)	 ▲ 8.3 (▲ 22.2)	 8.3 (▲ 11.1)	・海外ゲスト、国内ゲスト共に活発に予約が動いており、価格も需要に合わせて上昇傾向が続いている。(旅館・ホテル) ・企業団体などの大口顧客についてその動向が見通せない為(中華・東洋料理店)
不動産業	 ▲ 9.1 (▲ 14.3)	 ▲ 13.3 (▲ 8.4)	 ▲ 20.0 (▲ 25.0)	・自社保有物件の修繕工事の予定があるが、業者見積りや実際の費用が以前より高騰している。価格転嫁が簡単には出来ないため利益が下がる。(貸事務所業) ・材料費高騰による影響は引き続き大きい。十分に価格転嫁できず利益は下がっている(建物売買業)
情報サービス業	 ▲ 7.7 (▲ 10.0)	 2.5 (▲ 5.8)	 0.0 (▲ 5.8)	・企業向けコンサルティング案件の引き合いが堅調。(情報提供サービス) ・大口顧客の需要増及び人件費等増分の販売価格への転嫁が進んでいる。(ソフト受託開発)
対事業所サービス業	 ▲ 5.0 (▲ 5.7)	 0.0 (0.0)	 1.8 (3.3)	・主たる事業である施設貸出の事業の受注が良好であるため。(集会場) ・インフラ設備維持管理関連の公共事業工事の受注が計画を下回っており、他の民間部門工事は計画通りに受注できているが全体としては横ばいのため。(非破壊検査業)
対個人サービス業	 ▲ 34.4 (▲ 34.8)	 ▲ 41.9 (▲ 38.1)	 ▲ 38.7 (▲ 33.3)	・従業員の雇用が思うようにできず、コストも上昇している。(老人福祉事業) ・材料価格の高騰及び人件費の高騰を販売価格に転嫁できておらず、利益率が下がっている(自動車一般整備)

※BSI＝自社業況「良い」%－自社業況「悪い」%
 ※今期の BSI (全規模) が前期よりも 10 ポイント以上差がある業種については、矢印を表記している。
 ※表中の見方は右図の通り。

	← 天気マーク(下図参照)
▲ 5.8	← 全規模のBSI値
(▲ 22.2)	← 中小企業のBSI値

BSI	▲60.1以下	▲60.0～▲40.1	▲40.0～▲20.1	▲20.0～▲5.1	▲5.0～5.0	5.1～20.0	20.1以上
天気							



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



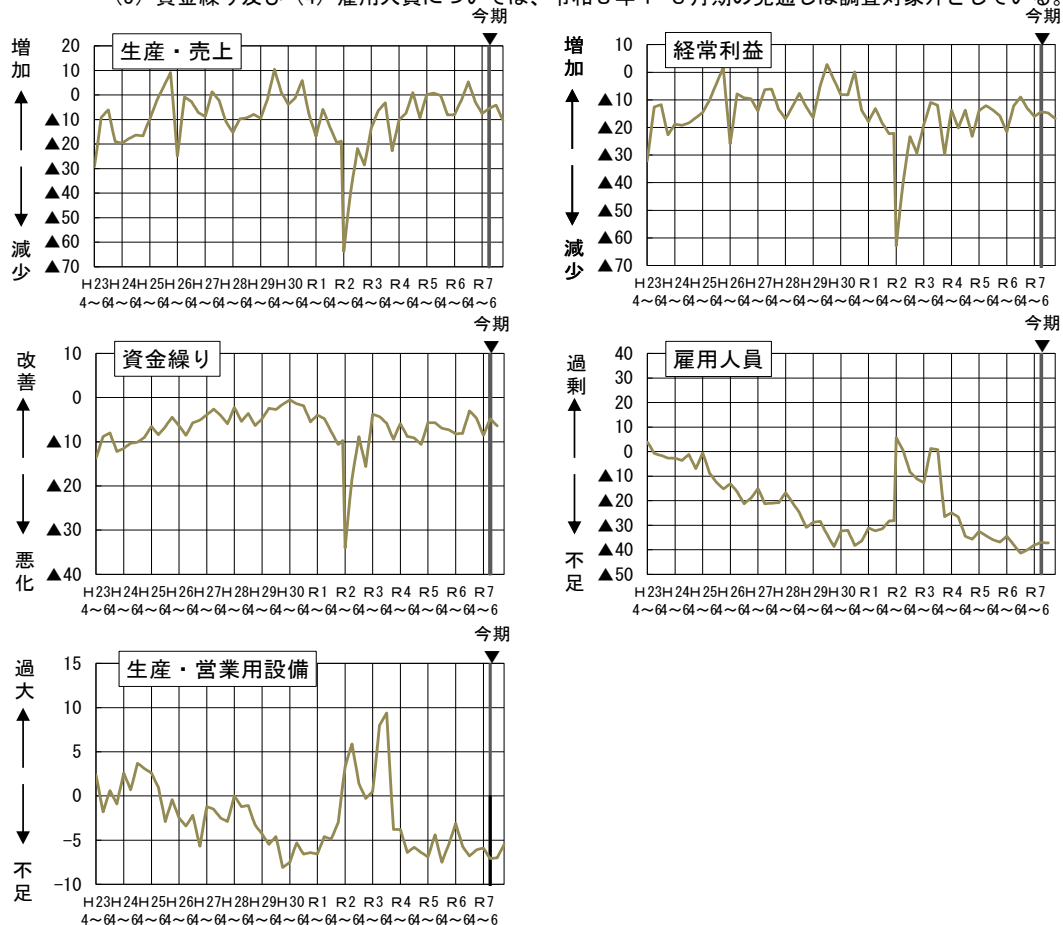
2 主要項目の推移

【主要項目(全産業)の推移】

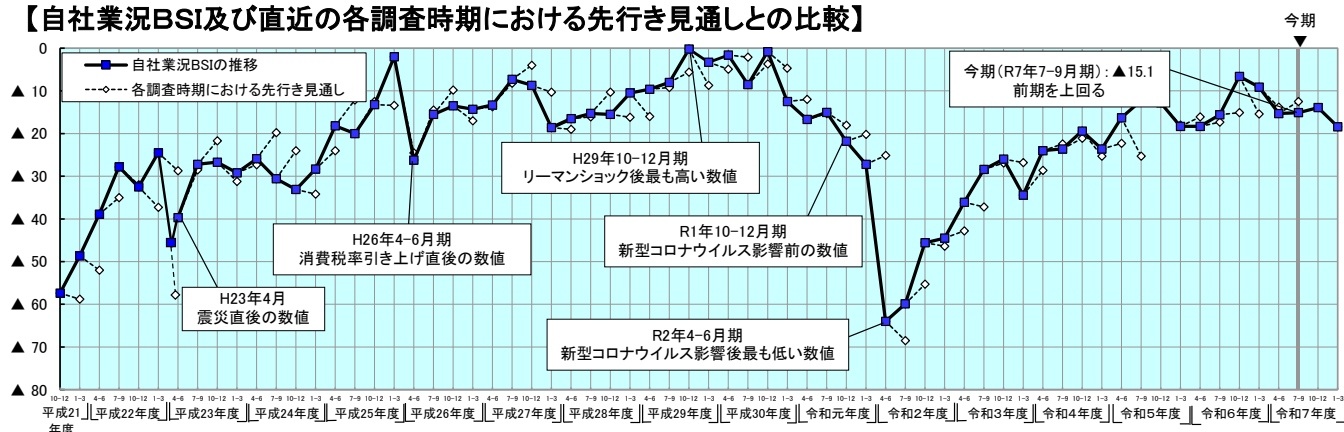
	令和6年 10-12月期	令和7年 1-3月期	令和7年 4-6月期 (前期)	令和7年 7-9月期 (今期)	今期-前期	令和7年 10-12月期 (来期)	令和8年 1-3月期 (再来期)
自社業況	▲6.6	▲9.1	▲15.3	▲15.1	0.2	▲13.9	▲18.4
(1)生産・売上	5.4	▲2.7	▲7.5	▲5.5	2.0	▲4.1	▲10.3
(2)経常利益	▲9.0	▲13.2	▲16.0	▲14.3	1.7	▲14.8	▲16.8
(3)資金繰り	▲3.0	▲4.6	▲8.5	▲4.8	3.7	▲6.4	
(4)雇用人員	▲41.4	▲40.0	▲38.0	▲37.0	1.0	▲37.2	
(5)生産・営業用設備	▲6.8	▲6.1	▲5.9	▲7.1	▲1.2	▲7.0	▲5.5

(注) 令和7年10-12月期及び令和8年1-3月期は見通し。

(3) 資金繰り及び(4) 雇用人員については、令和8年1-3月期の見通しは調査対象外としている。



【自社業況BSI及び直近の各調査時期における先行き見通しとの比較】



裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

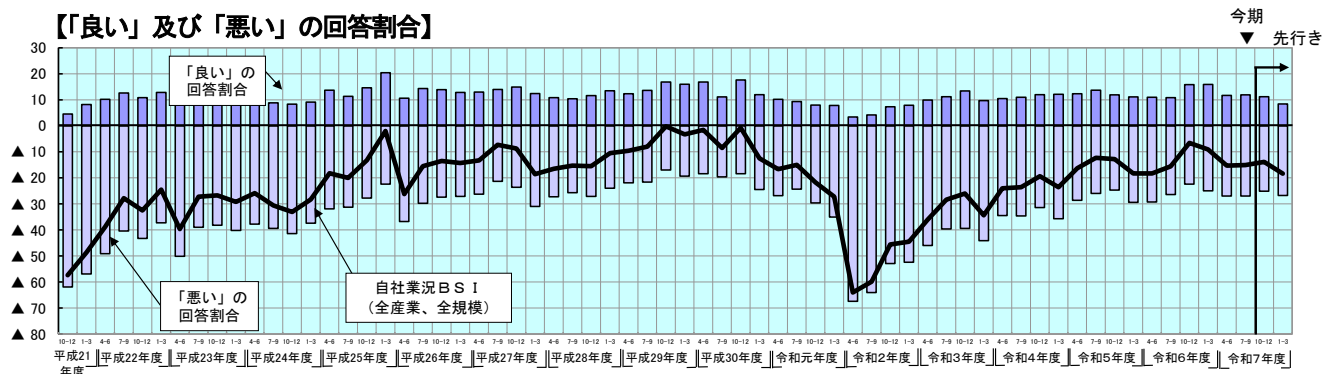
(参考資料) 自社業況BSI (業種別・規模別の推移)

	令和7年 4-6月期	令和7年 7-9月期	今期-前期	7-9月の回答の割合%			令和7年 10-12月期	令和8年 1-3月期	回答 企業数
				良い	普通	悪い			
全産業	▲ 15.3	▲ 15.1	0.2	11.9	61.1	27.0	▲ 13.9	▲ 18.4	(※) 637
製造業	▲ 16.4	▲ 21.3	▲ 4.9	10.4	57.9	31.7	▲ 17.5	▲ 21.1	259
食料品等	11.7	▲ 12.5	▲ 24.2	6.3	75.0	18.8	▲ 18.8	▲ 20.0	16
繊維・衣服等	▲ 28.6	▲ 50.0	▲ 21.4	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 60.0	6
印刷	▲ 20.0	▲ 18.8	1.2	12.5	56.3	31.3	▲ 6.2	0.0	16
石油・化学等	▲ 10.6	▲ 14.2	▲ 3.6	4.8	76.2	19.0	▲ 9.5	▲ 14.3	21
鉄鋼・金属等	▲ 24.0	▲ 32.2	▲ 8.2	10.7	46.4	42.9	▲ 25.9	▲ 32.0	56
一般機械	▲ 11.7	▲ 13.2	▲ 1.5	13.2	60.4	26.4	▲ 9.6	▲ 15.7	53
電機・精密等	▲ 9.3	▲ 22.2	▲ 12.9	6.7	64.4	28.9	▲ 13.3	▲ 15.5	45
輸送用機械	▲ 31.5	▲ 5.0	26.5	20.0	55.0	25.0	▲ 15.0	▲ 10.0	20
その他製造業	▲ 29.2	▲ 30.8	▲ 1.6	11.5	46.2	42.3	▲ 30.8	▲ 38.5	26
非製造業	▲ 14.5	▲ 10.8	3.7	13.0	63.2	23.8	▲ 11.4	▲ 16.5	378
建設業	▲ 20.0	1.8	21.8	20.0	61.8	18.2	▲ 5.4	▲ 16.7	55
運輸・倉庫業	▲ 13.9	▲ 20.0	▲ 6.1	5.0	70.0	25.0	▲ 17.5	▲ 22.5	40
卸売業	▲ 6.3	▲ 11.0	▲ 4.7	10.9	67.2	21.9	▲ 12.5	▲ 21.9	64
小売業	▲ 27.1	▲ 19.7	7.4	17.6	45.1	37.3	▲ 17.6	▲ 20.0	51
飲食店・宿泊業	▲ 18.2	▲ 8.3	9.9	25.0	41.7	33.3	8.3	▲ 16.7	12
不動産業	▲ 9.1	▲ 13.3	▲ 4.2	10.0	66.7	23.3	▲ 20.0	▲ 13.3	30
情報サービス業	▲ 7.7	2.5	10.2	15.0	72.5	12.5	0.0	2.5	40
対事業所サービス業	▲ 5.0	0.0	5.0	14.5	70.9	14.5	1.8	▲ 5.5	55
対個人サービス業	▲ 34.4	▲ 41.9	▲ 7.5	0.0	58.1	41.9	▲ 38.7	▲ 38.7	31

BSI (Business Survey Index)は、景気の強弱感を次の算式により求めている。BSI = 良い% - 悪い%

	令和7年 4-6月期	令和7年 7-9月期	今期-前期	7-9月の回答の割合%			令和7年 10-12月期	令和8年 1-3月期	回答 企業数
	良い	普通		悪い					
全産業	▲ 15.3	▲ 15.1	0.2	11.9	61.1	27.0	▲ 13.9	▲ 18.4	637
大企業	▲ 16.6	▲ 5.6	11.0	11.1	72.2	16.7	▲ 16.6	▲ 11.1	36
中堅企業	▲ 2.7	▲ 6.9	▲ 4.2	12.1	69.0	19.0	▲ 3.5	▲ 2.7	116
中小企業	▲ 18.1	▲ 17.7	0.4	12.0	58.4	29.7	▲ 16.3	▲ 22.7	485
うち小規模企業	▲ 26.8	▲ 24.4	2.4	9.6	56.4	34.0	▲ 23.3	▲ 32.1	188
製造業	▲ 16.4	▲ 21.3	▲ 4.9	10.4	57.9	31.7	▲ 17.5	▲ 21.1	259
大企業	▲ 10.0	▲ 11.1	▲ 1.1	11.1	66.7	22.2	▲ 22.2	▲ 22.2	9
中堅企業	10.0	10.0	0.0	10.0	90.0	0.0	20.0	0.0	10
中小企業	▲ 17.7	▲ 22.9	▲ 5.2	10.4	56.3	33.3	▲ 19.0	▲ 21.8	240
うち小規模企業	▲ 24.8	▲ 27.9	▲ 3.1	9.0	54.1	36.9	▲ 21.3	▲ 27.6	111
非製造業	▲ 14.5	▲ 10.8	3.7	13.0	63.2	23.8	▲ 11.4	▲ 16.5	378
大企業	▲ 19.3	▲ 3.7	15.6	11.1	74.1	14.8	▲ 14.8	▲ 7.4	27
中堅企業	▲ 3.9	▲ 8.5	▲ 4.6	12.3	67.0	20.8	▲ 5.6	▲ 2.8	106
中小企業	▲ 18.3	▲ 12.6	5.7	13.5	60.4	26.1	▲ 13.5	▲ 23.4	245
うち小規模企業	▲ 29.6	▲ 19.5	10.1	10.4	59.7	29.9	▲ 26.0	▲ 38.1	77

(※) 回収数(640件)のうち、無回答数(3件)を除いた値。



◎報告書掲載 URL <https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/tokei-chosa/keikyou.html>



お問合せ先

経済局企画調整課長 粕谷 美路 Tel 045-671-2565



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷